

令和 7 年度第 1 回 感染症発生動向調査協議会
議事概要

1 日 時 令和 7 年 4 月 1 6 日（水） 1 4 : 0 0 ~

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1 階 入札室（岐阜市柳戸 1 - 1）

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志（岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長）
澤田 明（岐阜大学医学部附属病院 眼科 臨床准教授）
加藤 達雄（国立病院機構長良医療センター 院長）
高橋 義人（岐阜県総合医療センター 中央検査部部長 兼 臨床検査科部長）
オブザーバー : 市原 拓（岐阜市保健所 感染症・医務薬務課 感染症 1 係長）
事務局 : 松尾 孝和（感染症対策推進課 感染症対策監）
酢谷 奈津（感染症対策推進課 感染症対策係長）
松岡 真史（感染症対策推進課 技術主査）
野池 真奈美（保健環境研究所 主任専門研究員）
吉田 菜穂（保健環境研究所 専門研究員）

4 議 題（進行：馬場委員）

- （1）前月の感染症発生動向について
- （2）検討すべき課題について
- （3）情報提供すべき事項について
- （4）情報提供（月番委員専門分野から）
- （5）その他（感染症対策推進課から）

5 議事概要

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○本邦における麻疹の発生動向および今後について

- ・（委員から）別添資料で示されているとおり、2025 年は過去二番目に累積報告数が多かった 2018 年を上回るペースで推移しています。大阪万博による海外客の増加、またワクチンの流通が滞っていることを懸念しています。動向に注視して見守っていく必要があります。

○急性呼吸器感染症（ARI）の報告状況および課題について

- ・（事務局から）患者サーベイランス定点は 45 定点を確保しています。15 週のみ 42 定点となります。
- ・（委員から）定点が変更となった影響があり、しばらくは評価がしにくい状況です。岐阜県リアルタイムサーベイランスのデータと合わせて今後の動向を見ていく必要があります。

○〈保健環境研究所から〉アウトドアシーズンに向けたダニ媒介感染症の予防啓発について

- ・（委員から）ダニへの対策をせずに感染し、またダニに刺されたことを意識しないまま医療機関を受診

するケースがあります。現時点で岐阜県内の感染者が増えている状況ではありませんが、予防啓発する場合、関連する場所などで啓発を行うのもよいかもしれません。

【情報提供すべき事項】

○臨床診断の時点で届け出るべき感染症（麻疹、風疹を含む）について

・（委員から）臨床診断として疑った時点で届け出る医師もいれば、検査結果を見てから届けようとする医師もあり、場合によっては診断しきれていない例もあるのではないかと思います。他院を紹介する前に、最初に疑った時点で届け出るのが望ましいことを、医師会などを通じて周知するとよいかもしれません。